

広島市歯科医師会だより



2 月号

Hiroshima City Dental Association

No.178 (R4.2.12)



目 次

年頭あいさつ	1 ページ
行事報告	
新年挨拶	3 ページ
広島大学柳本新教授ご来館	3 ページ
支部だより	
中区支部	4 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部)	4 ページ
「MAXHUB」を併用した地域歯科保健部委員会ハイブリッド開催(地域歯科保健部)	5 ページ
広島市学校保健会専門委員会 第1回 歯科保健対策委員会(地域歯科保健部)	5 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	6 ページ
FMちゅーピー(広報部)	9 ページ
YouTube(広報部)	9 ページ
会員広場	
新入会員紹介	10 ページ
会長コラム『柔しく剛く』	
新型コロナウイルス感染症と学校歯科保健ーコロナから子どものお口の健康を守れ！ー	11 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	12 ページ
1月定例理事会報告	13 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集	15 ページ

年頭あいさつ



謹賀新年

一般社団法人 広島市歯科医師会
会長 熊谷 宏

会員の先生方におかれましては、令和4年の新春をつつがなくお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

新しい年、干支は壬寅(みずのえとら)です。十干の「壬」は「はらむ」とか「生まれる」という意味が、また十二支の「寅」は「延ばす・成長する」という意味を持っているようですので、壬寅は「陽気を孕み、春の胎動を助く」、すなわち、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表している、というイメージではないでしょうか。まさに、厳しいコロナを乗り越えて、今年は春の息吹にみちた明るい1年になると信じたいと思います。

寅年の本年、年男になられる会員の先生方が35名いらっしゃいます。36歳が2名、48歳が9名、60歳が7名、72歳が12名、84歳が5名です。中でも、84歳の年男になられた松原弘明先生・大野厚生先生・沢田建彦先生・中村博先生・田中久寿雄先生におかれましては、これからもどうぞご自愛され、ますますお元気でられることを会員を代表して心から祈念申し上げます。

さて、私が会長に就任させていただいた際に「優しく剛い広島市歯科医師会を目指して」という会長方針を立てさせていただきました。毎月先生方にお送りしている広島市歯科医師会だよりに会長就任以来毎回書かせていただいている会長コラムでも述べさせていただきましたが、「優しく剛く」の「優しく」における重要なキーワードが「融和」と「親睦」であります。

その思いで厚生部(谷巖範理事)を新たに立ち上げ、これまで三役対応であった新年互礼会を厚生部担当とし、一昨年の新年互礼会では、政治家の皆様のご挨拶を極力短くし、女性書道家による書き初めなど、先生方に楽しんでいただけるようなしつらえで実施しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により昨年の新年互礼会は対面での開催がかなわず、広島市歯科医師会だより新年特大号という形となりました。クリスマスパーティーについても一昨年は中止、そして昨年も対面での実施は難しいと判断し、だよりのクリスマス特大号という形で多くの先生方にご参加いただいたところです。

そんな状況でしたので、今年の新年互礼会はなんとしても開催したいと思い、政治家の先生方へのお声かけを自粛し、来賓は県歯会会長及び専務だけとし、会員だけで新年をお祝いし、座席の間隔も十分に取り、換気にも配慮し、マスク会食形式で実施し、時間短縮の意味も含めて書初めのような派手なパフォーマンスも行わないという形で実施することを決意してご案内しました。

だより 12月号の会長コラム第 29 回にも書きましたが、会員の先生方はコロナ禍の発生以来受診抑制への対応や感染対策に腐心され、身も心も疲弊されています。私は会長として少しでもお支えしたいとの思いから、だより号外の発刊や感染予防物資の配布など、できうることを誠心誠意行ってきたつもりです。しかしながら、疲弊した会員の皆様的心を癒すためには、仲間である会員同士が直接顔を合わせて、会話など五感を通じて心を寄せあうことが今こそ必要だと考えたからです。

しかしながら、ご承知の通り年が明けてからのこれまでにないペースでの感染爆発を受け、悩みに悩んだ末、対面での開催を諦め先日ウェブ新年互礼会という形での開催とさせていただきました。その判断をした数日後に、広島では蔓延防止等重点措置が取られましたので正しい判断であったとされているところではありますが、80名近い会員の先生方から参加のお申し込みをいただいていたことを考えると申し訳ない気持ちで一杯です。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、会務の方ですが、会長に就任して 2 年半が経ちました。私は、一般社団への移行や新会館への移転、そして創立 100 周年事業などの大事業を乗り越え安定飛行に入った今こそ、特に次の 3 つの事業、

- 1：学術団体としての基本に立ち返る学術研修活動の充実
- 2：会員診療所の経営安定に資する事業
- 3：会員相互の絆を深める共益事業の充実

を会長としてやりたい、とっていました。しかし、現実にはそのエネルギーの多くを、コロナ対応に割かざるを得ませんでした。コロナ対応については、十分なことができたかどうかわかりませんが、若い理事の先生方、そして能美専務理事、瓜生副会長らに支えていただき、なんとか今日までやってこれました。

2 期目の任期も残すところ 1 年と 6 ヶ月です。さきほど申し上げた 3 つの事業を中心に、コロナ対応だけでなく、やるべきことをしっかりとやっていきたいと思っております。先生方には、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、広島市歯科医師会会員の先生方の今年一年のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和 4 年 1 月吉日

行事報告

新年挨拶

日時：1月15日(土) 午後1時

場所：オンライン開催 (YouTube)

年明けの新型コロナウイルス感染爆発を受け、対面での開催を断念し、Webによる新年互礼会として、YouTubeを利用した「新年挨拶」が動画配信された。谷巖範厚生部理事の司会のもと、熊谷宏会長の挨拶に続き、能美和基専務理事が新入会員14名を紹介、岸田文雄総理・湯崎英彦広島県知事・松井一寛広島市長からの祝辞を披露し、最後に瓜生賢副会長による閉会の辞で終了した。

昨年未ようやく新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、令和2年以降中止となっていたハーモニーホールでの新年互礼会をこの度余興なし、ノンアルコールで企画し、80名近い会員の参加申し込みをいただいていたが、開催中止は苦渋の決断であった。来年こそは、仲間である会員同士が、相手の顔を見ながら、五感を通じて心を寄せ合える新年互礼会を開催できることを切に願う。



左から能美和基専務理事、熊谷宏会長、瓜生賢副会長、谷巖範理事

広島大学柳本新教授ご来館

日時：1月18日(火) 午後1時

場所：県歯会館 6階「会長室」

広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学(旧第1口腔外科)の教授にご就任(1月1日付)された、柳本(やなもと)惣市先生が広島県歯科医師会館に来館され、山崎健次県歯会会長、毛利雅哉県歯会副会長、上川克己県歯会専務理事、福井康人県歯会理事、熊谷宏会長でお会いし、今後の歯科医師会と広島大学との協力関係等について協議した。

柳本教授は、長崎大学のご出身、長崎大学口腔外科(口腔腫瘍治療学分野)を経て、この度広島大学教授として赴任された。歯科医師会との関係を大切にしたいとの先生の思いで来館が実現し、県歯会長、本会会長に加え、長崎大学同窓の毛利副会長、第1口腔外科出身の福井理事らでお迎えをしたところである。

今回広島大学旧第2口腔外科(口腔顎顔面再建外科)も、1月1日付で相川友直教授が新たに就任されたとのこと。

これを期に広島大学歯学部と歯科医師会との関係がますます良好なものとなることを期待したい。



左から福井康人県歯会理事、熊谷宏会長、柳本惣市広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学教授、山崎健次県歯会会長、毛利雅哉県歯会副会長、上川克己県歯会専務

支部だより

中区支部

令和3年度中区在宅医療・介護連携研修会

日時：1月21日(金)午後7時

場所：オンライン開催(Zoom)

オンラインによる標記の会が開催された。

橋本義政中区医師会理事司会進行の下、最初に田邊徹行中区医師会会長の挨拶があり、その後高村省三広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課課長より、「広島市認知症初期集中支援推進事業について」という演題で、「認知症初期集中支援チーム」の設置概要、広島市における認知症高齢者の人口推移の現状、そして中区における認知症高齢者の現状について講演があった。

引き続き、小西太中区医師会理事(医療法人ほーむけあほーむけあクリニック理事長)の講演へと移行し、昨年11月から始まった「広島市認知症初期集中支援事業」についての実情等が示された。

実際に、社会になじめない独居の高齢者は増加の一途をたどっているが、この事業は広島市の他の区と比較すれば開始が最も遅くなってしまい、また、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染者が爆発的に増加している現

状において、このような高齢者の方々にどう対応していくのか多くの課題が露呈しているとのことであった。

なおこの会議には、中区支部に所属している本会地域歯科保健部より若林大輔理事、石田一輝理事、前田羊一委員長、尾山奈々子委員、光山素夫委員、中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長、小松大造氏、橋本隆氏、長谷川聰氏、森田薫氏が参加した。



講演をする小西太中区医師会理事
(医療法人ほーむけあほーむけあクリニック
理事長)

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より —こんな医療トラブルが起っています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：衛生士・助手の業務範囲について

通院している歯科医院で資格を持たないスタッフが処置をする。歯科衛生士か看護師か分からない。医師が説明はしてくれるがおかしいと思う、どこに言えばいいのか。

(センターの対応)

歯科医師の指示のもと行う処置であれば問題ない。主治医への確認を勧める。説明に納得できなければ、歯科医師会への相談を勧めたが、相談済みだったため広島市保健所環境衛生課医務係が管轄になることをお伝えした。

(コメント)

患者さんからすると職域による処置内容の区別はつきにくく、特に歯科衛生士、看護師、歯科助手の区別もつかないことでしょう。患者さんが院内で職種の判別をしやすいうちに、名札を付ける、制服を職種によって変え

る、院内にスタッフ紹介の掲示をする、直接患者さんに紹介する等の工夫をしましょう。また、歯科衛生士や歯科助手の業務を超えた指示はださないようにしましょう。

地域歯科保健部

「MAXHUB」を併用した地域歯科保健部委員会ハイブリッド開催

日時：1月15日(土) 午後4時45分

場所：広島市歯科医師会 2階「大会議室」及びオンライン開催(Zoom)

広島市内における新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、月1回の定例委員会が「ナイスモバイル社 MAXHUB v5(75型)」を併用し、会議室とZoomの参加者によるハイブリッド形式で行われた。このモニターはマイク、スピーカー、カメラ、タッチスクリーンが一体化となったオールインワンのミーティングボードであり、それらを駆使することでWeb会議システム、プレゼンテーション機能、そして電子黒板機能などを煩雑なケーブル接続もなく使用することが可能となる。

本機を通じて前田羊一委員長の開会の挨拶があり、地域歯科保健部各理事および委員より報告、協議が行われた。また、新任の芥川桂一委員の予演会および質疑応答も行われた。途中、ハウリングの発生等の軽微なトラブルが起こったものの、特に大きな遅滞もなく、通常どおりの活発な

意見交換が行われ、中川誠副委員長の閉会の挨拶を以て委員会は終了となった。

今回は本機の実力をまだまだ使い切れてはいないが、その可能性を大きく感じる事が出来た時間であったように思う。



委員会の様子

広島市学校保健会専門委員会

第1回 歯科保健対策委員会

日時：1月17日(月) 午後1時

場所：書面会議

標記の会が書面にて開催された。主な議題の一つとして、学校健診情報の電子化に伴う健康診断票および定期健康診断(歯科健診)結果のお知らせの変更について協議された。

現在、各小中学校に導入されている校務支援システムが令和5年度に契約更新を迎えるにあたって、「保健管理」機能を追加し、令和10年度までの5年契約を行う予定で、広島市教育委員会内では検討を進めている。このシス

テムを活用することにより、健康診断結果を入力することで、各学校同一のシステムで健康診断票を電子管理することができ、また、検査結果のお知らせを出力することもできるようになる。

ただし、健康診断票及び、検査結果のお知らせについて、これまでの様式は使用できず、原則としてシステムに設定されている「標準様式」を使用することとなる。そこで、本会と広島市教育委員会との間において、

- 児童生徒健康診断票の様式の確認
- 歯科健診結果のお知らせの様式の確認

が検討されることになった。経過については随時報告する。

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼コロナ禍で指導・監査の件数は大幅減少したが、保険指定取り消し等に大きな変化なし—2020年度指導・監査実施状況



Gemmed (2022年1月17日)

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=45544>

2020年度に個別指導を受けた保険医療機関等は前年度から61.9%減の1797件。新型コロナウイルス感染症の影響で診療行為そのものが大きく減少したことが背景にあると思われる。

またコロナ感染症拡大防止のために、集団的個別指導はゼロ件となった。

さらに、監査を受けた保険医療機関等は▼医科：16件▼歯科：23件▼薬局：7件—の合計46件で、前年度から16.4%減。

一方、保険指定取り消し処分などを受けた医療機関等は19件(前年度から2件減)、医師等は18人(3人増)で前年度と大きく変わっていない。

こうした状況が、1月13日に厚生労働省が発表した2020年度の「保険医療機関等の指導・監査等の実施状況」から明らかになりました(厚労省のサイトは[こちら](#))

▼新型コロナウイルス、空中で20分後には感染力の大部分失う—英大調査



Bloomberg (2022年1月16日)

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2022-01-14/R50DBWT0G1LQ01>

英ブリストル大学のエアロゾル研究センターの調査によれば、新型コロナウイルスは吐き出された後間もなく感染力のほとんどを失い、長距離では伝染する可能性が低下する。

ウイルスの吐き出された後の動きをシミュレーションした同研究では、空中に浮遊してから20分後には、伝染する能力の90%を失う。感染力喪失の大半は空中に達してから最初の5分間で起こることが分かったという。

▼2022年度改定に向けた「項目」出揃う、入院・外来・在宅・疾患対策などの見直し方向示す—中医協総会(2)



gemmed (2022年1月15日)

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=45509>

2022年度診療報酬改定に向けて、中央社会保険医療協議会・総会の議論がいよいよ大詰めを迎えています。

1月12日に開催された中医協総会では重症度、医療・看護必要度(以下、看護必要度)見直し論議を行ったほ

か、厚生労働省保険局医療課の井内努課長から「議論の整理」案が提示されました。これまでの改定論議を通して「2022年度改定で実施してはどうか」と考えられる項目を整理したもので、「2022年度改定内容の目次」に該当すると言うことができます。

▼日本人は「葉酸」が極めて不足... 認知症・動脈硬化・うつ病のリスクが 増大



日刊ゲンダイ (2022年1月15日)

<https://hc.nikkan-gendai.com/articles/277139>

この20年、日本人全ての世代で、健康を維持する上で重要な栄養素の摂取が不足している。「中でも深刻な

ニュースピックアップ

▼感染者 3 億人突破にWHO事務局 長「あまりに巨大で急速、世界中で医 療体制を圧倒」



yomiDr. 2022年01月07日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220107-0YT1T50161/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルスの世界の累計感染者数が7日、米ジョンズ・ホプキンス大の集計で3億人を突破した。感染力が強い変異株「オミクロン株」が確認された昨年11月以降、欧米を中心に感染ペースが加速している。

◎米国、インド、ブラジル、英国が多く、累計死者数も増加しています。広島もまん延防止措置が1月9日から適用され、感染拡大の抑制が求められています。

▼新変異株ワクチン 3 月にも ファ イザー、既に生産開始



THE SANKEI NEWS 2022年1月11日

<https://www.sankei.com/article/20220111-GS66273NBRP4TB4UT42CVMTU6U/>

米製薬大手ファイザーのブーラ最高経営責任者（CEO）は10日、新型コロナウイルスの新変異株オミクロン株に対応するワクチンを3月にも準備できるとの見通しを明らかにした。CNBCテレビに語った。

◎新たなワクチンはオミクロン株以外の変異株も標的にしたもので、一部の国から引き合いがあり、準備を進めているとし、既に生産を始めているとのこと。日本に供給される時期については未定ですが、今後に注目です。

▼オミクロン株症状は のどに痛み、 味覚障害少なく



THE SANKEI NEWS 2022年1月18日

<https://www.sankei.com/article/20220118-6IKWAOC3VJ02JCYZSWYGIHQG4I/>

急速に広がる新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の影響などで18日、国内の新型コロナ新規感染者数が3万人を超え、過去最多を更新した。オミクロン株は従来のウイルスより感染力が非常に強いとされる一方で、重症化しにくいとの分析もある。

◎感染者を分析したところ、のどの痛みや鼻水、倦怠

は葉酸」と指摘するのは、女子栄養大学副学長で自治医科大学名誉教授の香川靖雄医師だ。詳しく話を聞いた。

▼気のせいとは思わないで！「脳梗 塞・脳出血」から命を守る第一カ条は 「前触れ」に気付くこと



毎日が発見(2022年1月16日)

<https://mainichigahakken.net/health/article/post-2772.php>

「脳梗塞」は突然、倒れて命を失う。助かっても寝たきりになることも... そうならないためには、どうすればいいのでしょうか？ IMS グループ横浜新都市脳神経外科病院院長の森本将史（もりもと・まさふみ）先生に、「脳梗塞の前触れ」についてお聞きしました。

感などは従来を上回る高い割合でみられた一方で、新型コロナ特有の嗅覚・味覚障害は低くなり、専門家は「いわゆる風邪の症状」とみているそうです。リンク先にはより詳しいデータが記載されていますので、ぜひ参考にしてみてください。

▼血圧測定、非接触のセンサーで... 北九大が開発



yomiDr. 2022年1月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220114-0YT1T50004/?catname=news-kaisetsu_news

北九州市立大は13日、電波を使った非接触式の血圧測定センサーを開発したと発表した。1拍ごとに変動する血圧を連続測定することが可能で、家庭用の計測器として1年後の実用化を目指している。

◎離れた位置から複数人で測定ができ、しかも対象者が動いていてもできるという画期的なセンサーのようです。測定値の正確性は不明ですがこれからの開発の成果を期待します。

▼アース製薬、歯科医院専用の商品 拡充 2年後に売上高5倍



日本経済新聞 2022年1月6日

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC23DK40T21C21A2000000/>

アース製薬は歯科医院などで販売する専用商品を拡充する。2022年2月に高齢者向けの商品を投入し、販路拡大につなげる。2年後をめどに売上高を現在の年間2億円から5倍となる10億円に引き上げる。

◎洗口液や義歯安定剤などの市販品が主な商品のアース製薬ですが、今後は歯科医院専売品に力を入れるとのこと。ごきぶりホイホイだけではなく、今後注目ですね。

▼自宅療養者向け「オンライン診療 センター」開設 広島知事が表明



中国新聞デジタル 2022年1月13日

https://www.chugoku-np.co.jp/local/news/article.php?comment_id=824118&comment_sub_id=0&category_id=256

広島県の湯崎英彦知事は13日夕の記者会見で、新型コロナウイルスに感染して自宅で療養している人からの診療相談に応じる「オンライン診療センター」を14日午後に関くと明らかにした。当初は医師5人の態勢を見込んでいる。薬の処方にも対応し、薬局から療養者に配送する。

◎猛威を振るうオミクロン株ですが、広島県の対応は素早かったですね。現在はパソコンやスマートフォンから接続するようになっていますが、高齢者などに向けて電話にも対応してほしいですね。

▼ストレスによるぜんそく悪化、遺伝子変異が関与 東北医科薬科大チーム発表

河北新報 2022年1月9日

<https://kahoku.news/articles/20220108khn000039.htm>

気管支ぜんそくの病態悪化の原因に、精神的ストレスの受容に影響する遺伝子の変異が関与していることを東北医科薬科大（仙台市）の研究チームが突き止め、日本アレルギー学会英文誌に発表した。

◎日常生活のストレスと遺伝子の相互作用でぜんそくの病態を悪化させる可能性があるようです。ストレスは万病のもとと言われていますが、我々、歯科医院経営者もストレスのケアに十分気を付ける必要があります。

▼医師不在の島でオンライン診療 笠岡市民病院が試験的に始める

山陽新聞 2022年1月5日

<https://www.sanyonews.jp/article/1214987/>

常駐の医師がいない島の医療充実を図ろうと、笠岡市立市民病院（同市笠岡）は5日、笠岡諸島・白石島との間をオンラインで結んだ遠隔診療をスタートさせた。県医師会の協力を得て皮膚科で試験的にを行い、今後、皮膚科がない他の島や他の診療科への拡充も検討していく。

◎皮膚科の診察をオンラインで結んだ遠隔診療を始めたようです。端末の画像を見て経過観察や薬の処方を行うようです。歯科においては実際に処置を下さらないといけないケースがほとんどなので、オンライン診療は現時点では難しいと思われます。

▼がん患者の10年生存率60.2%、0.8ポイント上昇…小児5年生存率は大人より高い傾向

yomiDr. 2021年12月24日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211223-OYT1T50286/?catname=news-kaisetsu_news

国立がん研究センターは23日、2009年にがんと診断された患者約29万人の10年生存率が、60.2%だったと発表した。前回調査（08年）より0.8ポイント上昇した。

◎初期の治療を乗り越えれば、多くのがんでその後の生存率は高まる傾向がみられ、医療の進歩により生存率がさらにたかまると期待されています。

▼筋萎縮性側索硬化症(ALS)を対象とした乳歯幹細胞を用いた培養上清治療の有効性を確認

PRWire 2022年1月12日

https://kyodonewsprwire.jp/release/202201115900?fbclid=IwAR0Ubk4_XbwAO_wAh5tIYs7D3PgJmpY8hnJt6JtwN-A7PSHgBvPAJ-axct0

株式会社再生医学研究所(代表:上田実・名古屋大学名誉教授・東京都中央区)の上田実・名古屋大学名誉教授と研究グループは乳歯幹細胞由来培養上清(SHED-CM と略す)の投与によって、脳や脊髄の炎症が強力に抑えられ、神経細胞の喪失と運動能力の低下を改善することにより、アルツハイマー病、慢性期脳梗塞などに著明な効果があることを明らかにしてきました(1-4)。これらの結果から、SHED-CM は筋萎縮性側索硬化症(Amyotrophic Lateral Sclerosis: ALS と略す)の神経細胞を活性化し運動能力を回復させる新たな治療法になる可能性が高いと考えられます。

◎従来、進行抑制する薬剤開発の報道ばかり ALS 治療でしたが、今回の発表は根本治療につながる可能性がありそうなので、要注目です。上田実先生の活躍は同業者としても、日本国民としても誇らしいですね。

▼「トイレ介助巡り口論、かっとなつた」認知症の妻に暴行の男を逮捕

yomiDr. 2022年1月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220115-OYT1T50111/?catname=news-kaisetsu_news

認知症の妻に暴行したとして、警視庁小金井署は14日、東京都小金井市貫井南町、無職の85歳の男を傷害容疑で緊急逮捕したと発表した。逮捕は13日。妻は14日夜に搬送先の病院で死亡し、同署が詳しい死因を調べている。

◎85歳の男性が88歳の妻の介護をしているという、老老介護の問題がこの事件の背景にあるのではないかと考えます。他人事ではなく、自分自身の老後についても考えさせられます。

▼コロナ療養施設で「深川めし」など提供、都が週1ペースで…「食事楽しめれば」

yomiDr. 2022年1月15日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20220114-OYT1T50259/?catname=news-kaisetsu_news

東京都は14日、新型コロナウイルスの宿泊療養施設で「深川めし」（東京都）などの人気駅弁を提供すると発表した。単調になりがちな施設内での食事を少しでも楽しめるようにし、施設療養者を増やす狙いがある。

◎深川めしのほか、鯛めしなども提供され、今後日本料理店も仕出し弁当なども提供予定とのこと。もちろんコロナ感染は絶対に避けたいことですが、療養中にこのような気遣いがあるとありがたいですね。



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

2月2日放送分

「フッ素は歯を守る強い味方」

広島市歯科医師会 松村英朗氏

フッ素に虫歯予防の効果があることは広く知られるようになってきました。今回はさらに、フッ素の歯に対する作用や注意点を、広島市歯科医師会の歯科医師、松村英朗さんが説明します。

2月16日放送分

「かみ癖に注意」

広島市歯科医師会 野坂覚氏

硬いものを食べるのが好きな方や、普段から力いっぱいかむことが癖になっている方は、歯が徐々にダメージを受けて、擦り減ったり欠けたり、場合によっては折れてしまうこともあります。破折は歯周病、虫歯に続き、歯の抜歯原因の第3位になります。今回は、普段気付きにくいかみ癖について、広島市歯科医師会の歯科医師、野坂覚さんが話します。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録お願いします

12月1日放送分

「永久歯が生える時期の注意点」

広島市歯科医師会 白神葉子氏

<https://youtu.be/Yfbi3raoum4>



12月15日放送分

「心を強くする食事」

広島市歯科医師会 豊田真仁氏

https://youtu.be/oHe_wVHHjQ



会員ひろば

新入会員紹介



周藤巧

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させて頂きました周藤巧と申します。

私は、生まれは広島市安佐南区で学生時代主に広島市西区で過ごしており、広島市立舟入高校卒業後、九州大学に入学致しました。平成23年に九州大学を卒業後、九州大学病院総合診療科及び協力型研修施設の船越歯科歯周病研究所にて研修を行い、平成24年から2年間九州大学病院の全身管理歯科で後期研修を行いました。その後平成26年より再度、船越歯科歯周病研究所に勤務しておりました。この度様々なご縁に恵まれて、令和4年3月1日より地元広島で「広島すとう歯科・歯周病クリニック」を開院させていただくこととなりました。

広島を離れて期間が経っており、わからないことが多いですので会員の皆様方よりご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

広島市歯科医師会作成 アニメーション「ハハ姉妹」完成しました

いつもゆかいなハハ姉妹が日常生活の中で分かりやすくお口にまつわるちょっと役に立つ話を色々教えてくれます♪

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLyf4zcYp6dvghisn8nQlsotsZC6ZFFs3g>



感染対策の基本はしっかりと！

広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



本コラム 2021 年 9 月号(緊急事態宣言と各種健診事業)でも述べましたが、市立学校における春・秋・就学時歯科健診、公立・私立保育園や認定こども園等における定期健康診断、1 歳 6 か月児及び 3 歳児集団健康診査といった行政と広島市歯科医師会との連携により行う歯科健診が、コロナ禍の為に延期など大きな影響を受けています。

まず対応したことは、マスクを外した状態で行うという特性から感染対策において他の健診とは異なる対応が求められる歯科健診を、乳児及び幼児・児童生徒及び我々歯科医の両者にとって安全に実施することでした。

学校歯科健診については、「新型コロナウイルス流行後の学校歯科健康診断における感染症対策の指針」を元に、広島市教育委員会の全面協力の元で、希望する歯科医師全員がダブルミラーで健診を実施できるようにすることなど、安心安全な健診環境が整い大過なく実施することができました。

今回はもう一点重要な視点について述べます。健康診査は乳児及び幼児・児童生徒らの心身の健康の保持増進を図るために、学校保健安全法や母子保健法を始めとする法律等により実施することを義務付けられたものですから、我々は、コロナ禍による延期等が乳児及び幼児・児童生徒らのお口の健康へ与える影響を注視し、それが最小になるよう全力を

尽くさなければなりません。

例年春と秋の年 2 回行われる歯科健診ですが、度重なる小学校等の一斉臨時休校などにより、この 2 年間秋の臨時健康診断を実施することができませんでした。このことを重く受け止めなければなりません。秋の健診は法で定められたものではなく、広島市歯科医師会の諸先輩

方が行政に働きかけて獲得された偉大な業績であります。

臨時健診の目的は、春に実施する定期健康診断の事後措置(健診で見つかった歯科疾患の治療、要観察歯である CO や歯周疾患要観察者である GO への保健指導等)が確実に実施されたかを確認することにあります。

新型コロナウイルスの影響による経済格差の深刻化が懸念される昨今の社会情勢において、コロナ禍以前から懸念されていた子供の口腔の状況の二極化がさらに進んでいるのではないかと懸念されています。

そういう意味でも、少なくとも来年度からは臨時健康診断が実施できることを期待しますし、そのための法整備も含めた体制整備が必要です。今回、広島市学校保健会報に論説を執筆する機会を得ましたので、秋の臨時健診の重要性について強調したところです。

コロナ禍における子供の口腔環境の悪化に対しては、健診だけでなく学校現場での学校歯科保

会長コラム (第 31 回)

柔しく剛く

新型コロナウイルス感染症と
学校歯科保健
-コロナから子どものお口の
健康を守れ！-

熊谷 宏

健活動が重要になります。学校歯科医の先生方におかれましては、子どもたちのお口の健康状況をこれまで以上に気にかけていただき、必要な対応を学校に提案し、実行していただきたいと切にお願い申し上げます。

広島における感染拡大は収まることを知らず、広島県における蔓延防止等重点措置も延長となっています。会員の先生方のみならず、スタッフや家族を感染から守ることが重要だとの観点から、装着感と感染防止効果のバランスを考え KN95 マスクを配布しました。

国難のこの期に、歯科医師会が自分たちの利を追求するのではなく、国民目線で行動を起こしていけば、国民から高い評価を受け最終的には我々の利となって返ってきます。この期を「歯科医療の重要性を国民に訴える」チャンスと捉え、これまでにも増した「国民目線」での会員一人ひとりの活動が重要だと繰り返し申し上げておきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2022年1月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2022年1月1日～1月31日)

世界・日本での経過	2022年	広島市歯科医師会での対応
政府 オミクロン株に最大限警戒 無料検査や病床確保など整備へ 国内累計感染者数 1,735,618人 世界累計感染者数 292,539,411人	1月1日	
米 FDA ファイザーのワクチン 3回目接種可能な年齢を拡大し 2回目接種との間隔短縮	1月3日	
広島県 新型コロナ新たに109人感染確認	1月4日	新年互礼会運営会議
厚労相 感染が急拡大している地域で自宅待機認める通知	1月5日	
新型コロナ専門家会合 “今後さらに急拡大する恐れ強い”	1月6日	
沖縄 山口 広島の「まん延防止措置」適用決定 1月9日から1月末まで	1月7日	新年互礼会対面開催中止 Web配信連絡(FAX)
オミクロン株 “自覚ない感染者” からの拡大に医師が危機感	1月8日	令和3年度 1歳6か月児及び3歳児集団健康診査の休止について(FAX)
国内累計感染者数 1,766,916人 世界累計感染者数 298,915,721人	1月10日	
WHO 今後6週間から8週間でヨーロッパ人口の半数以上が感染する恐れがあるとの見解を示す	1月11日	
	1月12日	学術講演ウェブ配信業者との協議
厚労相 3回目のワクチン接種 2回目との間隔短縮へ	1月13日	
ファイザー 新型コロナウイルスの軽症者向け飲み薬を厚労省に承認申請	1月14日	三役協議
厚労省 濃厚接触者の待機期間短縮などを全国の自治体に通知	1月15日	医療従事者等におけるコロナワクチン追加接種可能時期について(だより同封) 新年互礼会 Web配信
政府 “まん延防止措置” 13都県に適用へ1月21日から2月13日まで	1月18日	
政府 新型コロナウイルス対策の基本的対処方針を変更 “ワクチン・検査パッケージ” を原則使用せず	1月19日	
国立国際医療センター分析 喫煙歴 コロナ重症化のリスク高 男性1.51倍 女性1.94倍にも 国内累計感染者数 2,026,099人 世界累計感染者数 332,617,707人	1月20日	
厚労省 5歳～11歳の子供対象ワクチン接種について正式承認	1月21日	
	1月22日	令和3年度 1歳6か月児及び3歳児集団健康診査の休止期間の延長について(FAX)
英政府 ワクチン接種者は入国後に求めていた検査を撤廃すると発表	1月24日	三役会
東京大学医科学研究所 現在の抗ウイルス薬 オミクロン株への効果は対デルタ株と同等の効果が見られたと発表	1月27日	
政府 濃厚接触者の待機期間 10日間から7日間に短縮	1月28日	令和3年度広島市乳幼児集団健康診査の休止期間の再延長について案内(FAX)
国内累計感染者数 2,605,178人 世界累計感染者数 364,191,494人	1月30日	
自衛隊による新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場 今日開始	1月31日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体

※以前のものは前号参照

1 月定例理事会報告

「部外報告」

- 1 2 月 2 8 日 社会保険診療報酬支払基金再審査
1 月 6 日 (県歯) 会員サポート室会議
1 月 7 日 (県歯) 会員面談
1 月 1 1 日 (県歯) 会員面談
1 月 1 2 日 【Web 会議】 歯科情報サイト運営業者との協議
1 月 1 3 日 (県歯) 新規個別指導
1 月 1 6 日 【Web 会議】 令和 3 年度広島圏域地対協研修会
1 月 1 7 日 【書面審議】 歯科保健対策委員会
1 月 1 8 日 広島大学柳本教授との協議
" 【Web 会議】 令和 3 年度第 2 回広島圏域地域医療構想調整会議
1 月 1 9 日 広島県国保連合会歯科再審査部会
1 月 2 0 日 広島県国保連合会歯科審査部会
2 4 日
1 月 2 1 日 社会保険診療報酬支払基金審査
2 6 日

(連盟関係)

- 1 月 2 7 日 【延期】 自由民主党全広連支部広島南第一支部合同新年互礼会

「総務関係」

- 1 月 4 日 【Web 会議】 新年互礼会運営会議
1 月 5 日 仕事始め 事務局初詣(広島東照宮)
1 月 1 4 日 【延期】 第 3 回会史等編纂特別委員会
" 新年互礼会 Web 配信収録
1 月 1 5 日 【Web 配信】 新年互礼会
" B 型肝炎第 3 回ワクチン接種
1 月 2 4 日 三役会
1 月 2 6 日 定例理事会

(慶弔関係)

- 1 月 4 日 中区支部 中林茂先生ご逝去
1 月 2 7 日 広島県学校保健表彰 西区支部
今田和秀先生
" 広島県永年勤続の学校歯科医に対する感謝状授与
中区支部 平野隆司先生
東区支部 平岡弘光先生

(入会退会関係)

- 1 2 月 2 7 日 南区支部 周藤巧先生入会

(県歯理事会関係)

- 1 月 6 日 (県歯) 理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 1 2 月 2 8 日 社会保険診療報酬支払基金再審査
1 月 6 日 休診レセプト点検
1 月 1 2 日 【Web 会議】 定例委員会
1 月 1 3 日 【Web 会議】 (県歯) 保険部常任委員会
1 月 2 1 日 社会保険診療報酬支払基金審査
2 6 日
休日診療保険請求における留意事項に

ついて

新入会員前面談配布資料について
(旧・新)

(2) 学術部 (花岡理事)

- 1 月 1 2 日 【Web 会議】 歯科情報サイト運営業者との協議
1 月 1 3 日 新年挨拶収録準備
1 月 1 4 日 新年互礼会 Web 配信収録
" 定例委員会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 1 月 4 日 【Web 会議】 新年互礼会運営会議
1 月 1 3 日 新年挨拶収録準備
1 月 1 4 日 新年互礼会 Web 配信収録

(4) 地域歯科保健部

- 1 月 1 5 日 【ハイブリッド会議】 定例委員会

<地域保健> (若林理事)

- 1 2 月 2 7 日 令和 3 年度第 2 回広島市障害者施策推進協議会
1 月 6 日 中区介護認定審査会
1 月 1 2 日 (県歯) 地域保健部常任委員会
1 月 2 1 日 中区在宅医療・介護連携研修会(Web)
・年末年始休日歯科救急医療について
・令和 4 年度休日診療日程・割当表について
・令和 3 年度年末歯科救急医療協力医
・令和 4 年度フッ素塗布日程表について
・集団乳幼児健診の一時中止について
・NHK 取材対応について
福祉対策協議会実績状況

<地域連携> (藤田理事)

- 1 2 月 2 3 日 西区介護認定審査会
1 月 6 日 西区介護認定審査会
1 月 1 3 日 西区介護認定審査会
1 月 2 0 日 西区介護認定審査会

<学校保健> (石田理事)

- 1 月 7 日 第 3 回広島市食育推進会議
1 月 1 7 日 【書面審議】 歯科保健対策委員会

(5) 広報部 (水内理事)

- 1 月 7 日 【Web 会議】 校正委員会
(だより 1 月号)
1 月 1 4 日 新年互礼会配信収録
1 月 1 7 日 FM ちゅーピー収録
1 月 2 1 日 【Web 会議】 情報調査委員会

FM ちゅーピー (新聞掲載)

- 2 月 2 日 「フッ素は歯を守る強い味方」
広島市歯科医師会 松村英朗氏
2 月 1 6 日 「嘔み癖に注意」
広島市歯科医師会 野坂覚氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,170 (累計 193,825)
ページビュー 20,434 (累計 1,216,395)
会員サイト 訪問者 265 (累計 33,908)
ページビュー 896 (累計 239,256)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 86 件(12/21~1/20)
LINE 公式アカウント 登録者数
1月21日 110名

(7) 特別委員会

1月14日 【延期】第3回会史等編纂特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

1月20日 対面開催検討

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

1月25日 相談 治療対応について
(35歳代男性)

「協議事項」

(1) 入会について (4名)

南区支部の高橋兼一郎氏、林内優樹氏の入会に

ついて承認、東区支部1名、西区支部1名継続
審議中。

(2) 家族会について

開催時期協議、継続審議

(3) オンライン学術講演会について

内容確認

(4) 歯科情報サイトの利用について

歯科情報サイトを利用することについて協議、
継続審議

(5) 学校歯科医選任について

(井口台小学校、舟入小学校)

井口台小学校、豊田眞一氏の後任に中田穰氏
を推薦することを承認。舟入小学校、鎌田一道
氏の後任に光山素夫氏を推薦することを承認。

(6) ちゅーピー子ども新聞について

内容確認

(7) DX対応について

WEB会議、WEBを使ったセミナーを行うために
必要な機材の確認

(8) 令和4年度事業計画案・予算案について

次回理事会までに各部準備することを確認

(9) その他

職員採用について
マスク配布について

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hirosshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先
〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

友だち登録方法

QR コードで登録する方法

LINE アプリの「友達追加」画面から
「QRコード」を選択。
右のQRコードを読み込んで登録。



登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

LINE の ID 検索で登録する方法

LINE アプリの「友だち追加」画面から「検索」を選択。ID で「@698zzkzc」を検索して登録。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

11 月 2 日配信	第 36 回おくちの健康展 WEB 開催のお知らせ
11 月 26 日配信	だより「クリスマス特大号」みんなで参加しよう！
12 月 15 日配信	広島記念病院より Web 講習会のご案内
12 月 17 日配信	オンライン資格確認と併せてオンライン請求を開始する場合の導入費用の補助金について
12 月 17 日配信	広島市より令和 3 年 12 月 13 日の通知について(介護サービス事業所・施設における感染防止対策支援事業について)
12 月 28 日配信	年末年始の広島口腔保健センターにおける休日歯科救急診療出務者と事務局のお休み
1 月 5 日配信	忘れていませんか？補助金申請、今月末までです～感染拡大防止等の支援～
1 月 15 日配信	令和 4 年新年互礼会 Web 配信のご連絡
1 月 18 日配信	医療従事者等におけるワクチン追加接種(3 回目接種)の接種可能時期について
1 月 20 日配信	IT 化推進に関するアンケート調査について(お願い)

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。